



学校だよりきたざき

No.7 平成27年10月1日
福岡市立北崎小学校
校長 久光 謙治



6年生 修学旅行 9月10・11日



今年の修学旅行も昨年同様、長崎に向かうバスの中で虹を見ました。

長崎に着いてまずはじめにしたことは、「平和の集い」。平和公園の祈念像の前で、子ども達は、「戦争のない平和な国家を作っていきます」と力強く宣誓していました。そして、千羽鶴を納めてきました。

昼食の後、長崎市内のフィールドワーク。今回から時間を長くとり、いろいろなコースを回れるようにしました。それぞれ自分たちで考えたコースを、電車に乗ったり友達と協力したりして目的地までいきました。中華街でショウロンボウを分け合って食べている集団もありました。

ホテルは稲佐山観光ホテル。長崎の夜景がとてもきれいでした。

11日は、一番楽しみにしていたハウステンボス。ここでもグループ行動。アドベンチャーに行くグループ、いろいろなアトラクションに行くグループ、ただただ黙々と歩き回るグループ。いろんなグループがありました。二日間、天気にも恵まれ、腹一杯、修学旅行を楽しんできた6年生。心に残る思い出づくりができたと思います。

5年生 自然教室 9月16～18日



今年の自然教室は全体的に大変です。バスの確保ができないので、急遽日や場所を変更しなければならない学校が出ました。本校では、姪浜タクシーのバスを利用して予定通りできました。

1日目は井原山登山。途中でバスを降りて、林道を4キロばかり歩いてようやく登山口につきます。そこから山に入って、川を渡ったり急な坂を登ったり。潮崎先生が一番ばてていました。お昼を食べて下山する

頃から雨が降り出しましたが、全員登頂。よく頑張りました。

2日目は、フィールドワークと焼き杉作り。フィールドワークでは、メンバーがバラバラになって先生達を心配させたグループもあったようです。そしてその夜、キャンドルの集いは、みんな工夫を凝らした演技にゲーム大会。下から上がってきた先生達の出し物にみんな大笑い。

3日目は、野外調理。仕事を分担して、おいしい豚汁をつくりました。3日間フルに活動したので、帰りのバスではみんなぐったりしてました。

5年生にとっても、今年一番の楽しい行事だったと思います。ここで学んだ友達の良さや協力することの大切さをこれからの生活に活かしていただきたいと思います。

全国学力実態調査の結果 6年生

夏休みの間に、4月に行われた全国学力実態調査の結果が送られてきました。9月の参観懇談の折りに、6年生保護者には個人の成績並びに指導の観点をお渡ししました。

本年度の本校の結果について、お知らせします。

国語A、Bは及び理科においては全国平均、福岡県の平均と比べると「努力を要する」。算数A、Bにおいては、「やや上回っている」状況でした。

これからの取り組みですが、国語力をつけないといけないと思っています。本（絵本ではなく小説などの読み物）を多く読む。読んだ内容を人にしっかりと伝える。このことを中心に取り組んでいきたいと思いません。今、学校司書の井田先生と共に図書館の環境整備と各教室への配本整備を行っています。ご家庭においても、本を読んでいる姿を見かけた際に「何読んでいるの」とか「本は知識の宝箱だものね」など声かけて頂くと助かります。今回のこの結果は、6年生に限ったものではありません。どの学年にも通じるものです。聞かれている内容を読みとれないために他教科においても、点数がとれないということがおきます。本をよく読む習慣をつけていきたいと思っています。

10月の主な行事

- 1日(木) TV朝会、挨拶運動(8日まで)
- 2日(金) 先生達の出張のため給食後放課、児童下校 12:55
- 8日(木) 1～4年生授業参観・懇談会、5、6年生親子規範教育
小中合同人権教育講演会
- 9日(金) 委員会活動
- 16日(金) 読書祭り
- 19日(月) なぎさ集会
- 22日(木) 4、6年生鍛錬遠足(十坊山)(予備日 29日)
- 26日(月) 1、2、3年生鍛錬遠足(灘山、柑子岳の児童選択)(予備日 11月5日)
- 28日(水) クラブ活動
- 30日(金) 道徳授業公開、ふるさと手作り大会



※10月は町別人権学習会があります。6日(畑中)7日(小田)9日(西浜)13日(草場)20日(宮浦)22日(西岡)26日(唐泊)です。時間は、午後7:00～9:00となっています。

【徒然なるままに】

▼「子ども達に銃をとらせたくないのだから、本を与えなければなりません」

マララ・ユスフザイさん(18)

がある新聞社のインタビュで語った言葉です。

▼軍事よりも教育や医療・福祉に予算をかけていくことこそ、戦争やテロに対抗していくことだと伝えていきます。

▼私たち大人は、この18歳の発する言葉を、どう受け止めればよいのでしょうか。今回、安保関連法案に関心が集まり、若い人の抗議集会在各地で起こりました。私は、その動向に対して何も言えない立場ですが、若い人が政治に関心を持って声をあげたことはとても良いことだと思っています。

▼「戦争に行きたくない」若者に、もっと本を読んでもらいたいと思います。本から学ぶ世界は、きっと貴方を変えてくれるでしょう。

